

National Institute of Technology, Hiroshima College Library

# 図書館だより

第61号 令和7年8月25日

独立行政法人国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校



## — 目次 —

### 巻頭言

○名著が多い岩波ジュニア新書……………図書館長 澤田 大吾

### 寄稿 <新任教員>

○昭和を味わう「読書のすすめ」……………一般教科 水川 航生

○『名人傳』……………一般教科 是枝 由統

○『英語でたのしむ「アドラー心理学」 その著作が語りかける、勇気と信念の言葉』

……………総合科学科 豊嶋 奏多

○トピックス・編集後記

図書館長 澤田 大吾

私が本校に赴任したころ（30年前）、広島大学社会科学部研究科（※）では夏休みの期間中に多くの著名な大学の先生を招聘して集中講義を開催していました。私は招聘した先生方の運転手として何度か駆り出されたことがあります。

私は先生方が宿泊される広島市内のホテルと東広島をキャンパスとする広島大学を往復する運転手の役割をなしていましたが、多くの著名な先生方とお話できたことは本当に勉強になったし楽しかったです。特に、油井大三郎先生や西尾勝先生などは私の専門分野にあたる先生だったのでお話ができただけでも興奮しました。お二方から叱咤激励を受けていたので、もっと論文を提出して、早く東京や大阪の大学へ行きたいとどれだけ思ったことか。お二方ともに日本学術会議の役員でしたから、頑張れば後押ししてくれたと思います（後押しすると約束してくれていました）。特に、西尾先生は橋本龍太郎首相の側近で学士院と政界をつなぐような人でした。結局、私の意志が弱くてさぼってしまってここにいますが（涙）……。

私が運転手をした先生の中に川北稔先生がおられました。川北先生は歴史学を専門とされる研究者です。川北先生のことを少しくらい知っておこうと思い、私の師匠である高城和義先生に「川北先生の著作で簡単なものを紹介下さい」とお願いしました。高城先生からは「川北さん、『砂糖の世界史』という本を書かれたみたい。簡単なものだけだね」と言われ、川北先生の書かれた『砂糖の世界史』（岩波ジュニア新書）を初めて読みました。最初は岩波ジュニア新書？中高校生が読むものだなと少しバカにされたような気がしました。しかし、初めて『砂糖の

世界史』を読んだ時、「これはすごい」と感動しました。この本は、砂糖という「世界商品」を通して世界の歴史の根本（差別と支配）が理解できるものでした。それ以上に、私が驚いたのは、川北先生が高校生でも理解できる簡単な表現を使いながらもとても詳しく説明していることでした。

岩波新書は、高校時代から読んでいましたが、ジュニア新書など読んだことがありませんでした。ジュニア新書の対象は中学生、高校生と

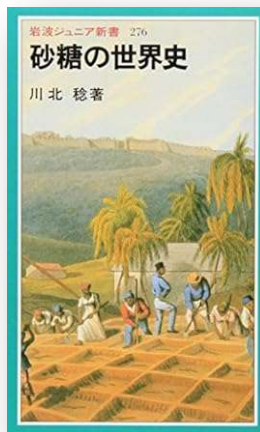
言われていましたが、今では大学生が様々な分野の基本書として読んでも全然不思議ではないものです。大学でも岩波ジュニア新書を推薦する先生も増えています。岩波ジュニア新書には多くの名著が誕生しています。高校生でも理解できるように簡単な表現を使い、丁寧な説明を心がける新書で

す。『砂糖の世界史』は、発刊以来、2024年までに46刷もされています。大ロングセラーと言っても過言ではありません。

岩波新書を読むのは少し難しいかもしれませんが、ジュニア新書なら学生のみならずも何とかなるかもしれません。この夏休みに、題名はとても甘いと思われる『砂糖の世界史』を読んで人類の歴史は決して甘くない、厳しいものであると感じてみてはいかがでしょうか？

※広島大学社会科学部研究科は、2020年4月をもって広島大学人間社会科学部研究科に再編されています。

『砂糖の世界史』  
川北 稔 著



## ◆◆◆ 寄稿 - 教職員 - ◆◆◆

### 昭和を味わう「読書のすすめ」

一般教科 水川 航生

今年は昭和元年から数えて 100 年目にあたるということで、「昭和 100 年」というフレーズを何度か耳にしました。昭和 64 年 1 月 7 日、私は中学 3 年生でした。悲喜交々の記憶は未だに鮮明ですが、昭和が徐々に遠くなりつつあるのも事実です。郷愁を感じつつ、自分の書棚から 1 冊取り上げてみました。選書理由は 2 つ、麻雀に没頭していた私の学生時代の愛読書であったこと、戦後（昭和中期）の時代感を追

体験できる一編であることです。物語の舞台は、空襲で焼け野原となった終戦間もない東京・上野、学徒動員明けの学生「坊や哲」（主人公）は、賭博に魅入られ、学校や仕事を放り出し、博打の世界に足を踏み入れます。哲を狂言回しに、生粋無頼の博打打ち「ドサ健」、隻腕の復員軍人「上州虎」、老獪な技巧派賭博師「出目徳」、吉原の女術「達」、進駐軍相手のクラ

ブママ「ゆき」など、肩書きからして個性的な人物たちが博奕目当てに集まり、虚々実々の駆け引きが繰り広げられます。本作は麻雀や賭博そのものより、自らの存在価値と財産を賭けて文字通り博奕に心血を注ぐ彼らの「生き様」に焦点を当てた群像劇です。登場人物は、ニートの博打オタク、イカサマ師、詐欺師、泥棒、人買い、人売りなど揃いも揃って悪党ばかりですが、不思議と作品全体に悲壮感や陰鬱さはなく、読後感は軽妙かつ清涼です。余計な心理描写を除いた簡潔で乾いた文体と、ストーリーテリングの妙で最後まで飽きずに読み切

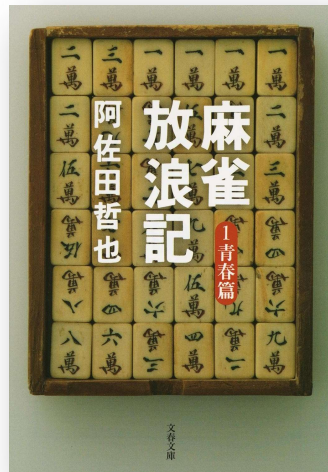
らせる、直木賞作家の確かな筆力が窺えます。また、賭博師たちは一見無秩序で、インチキ、イカサマ何でもありの無法者に見えますが、暴力や強盗などの強硬手段には訴えられません。ある時、麻雀で大敗したドサ健は、ゴト（イカサマ）を指摘し激昂します。不正を強硬に主張し、大暴れしたり、負けを踏み倒したりしておかしくない場面ですが、彼は黙って家の権利書を放り投げるの

です。賭博師たちにも譲ってはならない矜持や倫理がある。

博打の借りは博打で返すのが筋であり、力による現状変更は無粋だということです。力に支配されつつある昨今の世界情勢とは異なり、公正明大、実に痛快です。本作がピカレスクロマン（悪漢小説）と評される所以は、このような本質的な正義感と社会風刺の姿勢にあります。昭和の時代感を味わえる情景描写の秀逸さも特筆すべき点

です。銀シャリ（白米）を闇値で提供する御徒町の国鉄ガード下の闇市料理屋、焼け野原の下町に林立するバラック群、築地の借景として隅田川に跳ね上がる勝鬃橋、終戦直後の東京の街並みが色彩豊かに表現されています。人々の喧騒や街並み、終戦の開放感、復興の胎動など、「あの当時」の息遣いとダイナミズムが詰まっています。昭和の市井を描いた個性的な一冊「麻雀放浪記」、興味がある人は手に取ってみてください。読み終わった人は、ぜひ感想をお訊かせください。

麻雀放浪記 阿佐田哲



『名人傳』  
一般教科 是枝 由統

みなさんは、「名人」というとどのような人を思い浮かべるでしょうか。辞書などによれば、名人とは「技芸にすぐれて名のあつた人」や「名の通つた人」（新村編，2018，p. 2875）という意味です。特に、前半の技芸にすぐれて名のあつた人という意味を即座に思い浮かべる人は多いのではないのでしょうか。私も、名人というそのような人であると漠然と思っていました。

私が今回紹介したい本は、中島敦著の「名人傳」というお話です（これは短編小説で、色々な出版社から出版されています）。

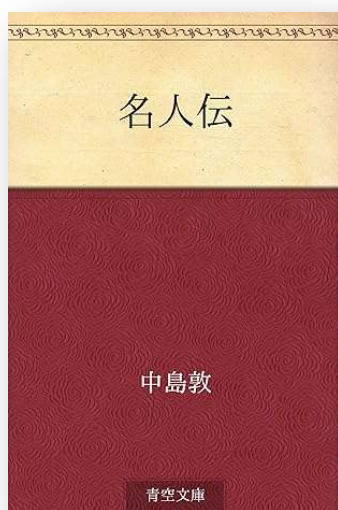
この著者の中島敦という名前を見たことがある人も多いのではないのでしょうか。「山月記」という小説は有名で目にしたことがある方も多いのではないかと思います（名人傳と山月記が両方掲載されている文庫もあるので、読んだことがないという方は是非一緒に読んでみてください）。

この名人傳はある人物が、天下で一番の弓の名人になろうと志を立て、名人への道を行んでいく話になっています。果たしてこの人物は名人になることができたのでしょうか。あるいは、この人物は名人とはなりえなかったのでしょうか。是非、皆さんが自分で読み、そして名人について考えてみてください。

この名人傳の結末は様々な解釈があるようで、名人となったと考える人もいれば、名人とは終ぞなり得なかったと考える人もいます。

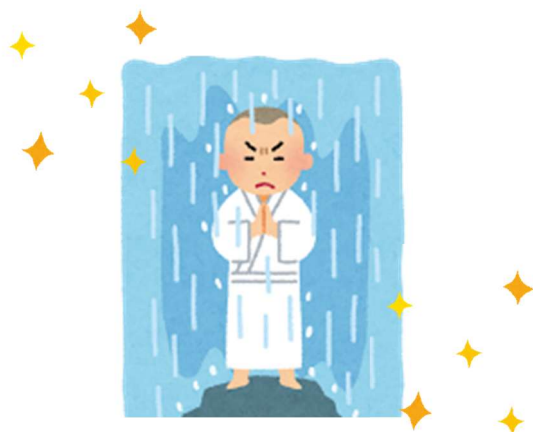
この人物というのは、終いには弓がなんであるか全くわからなくなったといひます。名人とは、斯くも大変なものなのでしょう。か。「名人傳」を読まれた方は、是非どのように考えたのか教えてください。私は、この人物は名人となり、弓という物質から解脱し、弓を忘却した

のではないかと考えています。



参考文献：新村出編（2018）  
広辞苑（第7版）岩波書店

名人傳  
中島敦 著



## 『英語でたのしむ「アドラー心理学」 その著作が語りかける、勇気と信念の言葉』

総合科学科 豊嶋 奏多

誰かが失敗をした時、あなたはどう思いますか？ 「お前が〇〇しなかったから失敗したんだ。」と書いていませんか。私はそうでした。でも、アドラー心理学を知ってから、このことを改めるようになりました。「お前が〇〇しなかったから失敗したんだ」という言葉。これには次の2つの側面があります。

- ① 過去を責めている
- ② 他人を変えようとしている

過去を責めること、皆さんも無意識にやっていませんか？ 「あの時〇〇していれば」、「もっと〇〇できたのに」……過去を振り返ることは大切ですが、過去は変えることができません。これから変えることができるのは未来だけです。改善点を見つけたら、後悔だけをするのではなく、『これから自分に何をできるのか』を考える方が有意義ではないでしょうか。

そしてもう1つ、変えることが難しいのは自分ではない他者です。「何でこんな簡単なことができないんだ」、「何でこんなこと言うんだらう」……他人に対してしばしば不満を抱くこともあるでしょう。それもそのはず、アドラーはこの世界で起こる悩みは他人によるものだと言っています。しかし、他人の全てを変えることはできません。なぜなら、他人は自分ではないからです。他人の感性は他人のもの、自分と同じものにするとは

ほぼ不可能です。

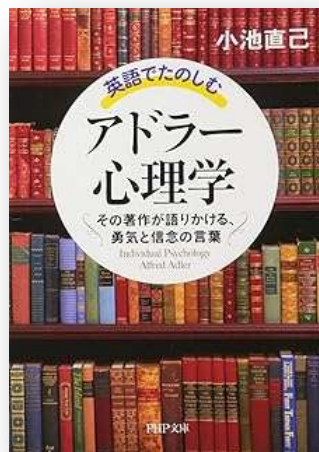
つまり、失敗をした時、責めることよりもその失敗をどうすれば取り返せるのか、次からはどうすれば良いのかを考えることが大切なわけです。これから先、色んなことがあると思いますが、ぜひ未来を変える方向で動いていただければ嬉しいです。

そんなこんなで、私が紹介する本は『英語でたのしむ「アドラー心理学」 その著作が語りかける、勇気と信念の言葉』です。

アドラー心理学の本ならどれでもお勧めだと言うくらいにアドラー心理学が好きですが、この本はアドラーの名言が原文である英語で書かれています。英語と聞くとぎょっとする方もいるかもしれませんが、でも、アドラーの英語は読みやすく書かれています。しかも、名言集のような本ですので、1ページに書かれている英語は数文だけです。最初から読まずにパラパラとめくる

ください。なんなら、アドラー心理学について語り合しましょう(笑)。

短文になりましたが、こんな感じで紹介文とさせていただきます。皆さんの高専生生活が楽しく充実したものでありますように。そして、卒業してからの進路が皆さんにとって良いものでありますように。過去にとらわれず、未来を変えられるように自分で進んでみてください。応援しています。



『英語でたのしむ「アドラー心理学」  
その著作が語りかける、勇気と信念の言葉』

小池直己 著

## 返却期限 のお知らせ



今年の夏の特別貸出の期限は、**9月19日(金)**です。

長期休み前に借りた本は、返却も忘れがちになります。  
皆で利用する本です。ご返却よろしくお願いします。

なお、返却期限がそれ以前の本は、もちろん至急ご返却ください。

## 図書購入リクエストって？

読みたい本・卒業研究に必要な本がある人は、図書館にご相談ください。  
図書購入リクエストとして専用の紙にご記入いただいたら、図書館の本として登録するので、ご利用いただくことが出来ます。  
(予算が限られているので、シリーズの本や内容によってはご遠慮いただく場合があります)  
気になる本がある人は、ぜひ図書館のカウンターでご相談くださいね。

## 編集後記



- ✿ 新採用の先生方3名から、ご寄稿いただきました。  
ご協力ありがとうございます。新刊で入手できるものは後日推薦図書として展示させていただきます。
- ✿ 今後とも図書館をご利用いただけるように、読書に親んでもらうことを目的に、令和7年も「図書館だより」を発行いたします。
- ✿ 図書館の本について、使い方について、質問や要望がありましたら、ぜひ図書館職員にご相談ください。
- ◆ 編集発行：図書委員会(令和7年度)：澤田大吾(図書館長・一般教科)  
清田耕司(商船学科)・風呂本武典(流通情報工学科)・後藤田和(一般教科)  
豊嶋奏多(電子制御工学科)
- ◆ 〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 427-1  
TEL:0846-67-3007
- ◆ ホームページ：<https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/facility/lib.html>